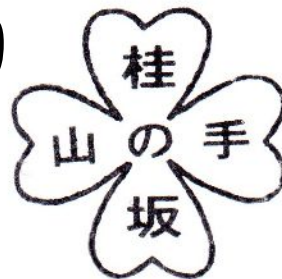


桂坂山の手倶楽部だより

(第35号)

平成26年5月1日発行

桂坂山の手倶楽部だより編集委員会



役員会だより

1. 第4回役員会開催(2/15)
 - (1) 全体活動、区老連活動の報告がありました。
 - (2) 新年互礼会の報告、反省を行いました。
 - (3) 第23回定期総会、親睦会の開催要領について検討しました。
 - (4) 桂坂ふれあい公園愛護協力会設立について報告がありました。
2. 合同会議開催(3/8)
 - (1) 全体活動、同好会活動、区老連活動の報告がありました。
 - (2) 次年度事業計画(予算)に関する意見交換を行いました。
 - (3) 桂坂ふれあい公園愛護協力会設立について報告がありました。
3. 第5回役員会開催(3/22)
 - (1) 第23回定期総会議案書の内容を検討しました。
 - (2) 同総会及び親睦会の開催要領について最終確認を行いました。

市・区老連だより

1. 区老連・市老連ボウリング大会で活躍 体育委員 景山 武信

昨年10月28日エミナースポウルで行われた「第8回西京区老連主催ボウリング大会」(出場67名)に、桂坂ボウリング同好会9月定例練習会の予選を上位でクリアした6名の方が出場し、優勝こそ逃しましたが男子2位田畑智史(ひいらぎ)、同7位内藤邦昭(かえで)、同15位田窪浩治(さくら)女子6位高木紀子(かえで)と健闘されました。この4名の方が12月6日しょうざんボウルで行われた「平成25年度京都市老連ボウリング大会」(出場207名)に西京区老連代表(20名)として選抜出場されました。西京区はこの大会でも大活躍で、上位20位以内に9名の方が名を連ね、西京区のボウリングレベルの高さを証明されました。

山の手倶楽部ボウリング同好会は、今年も月2回(1・3木曜午後2時)エミナースポウルで定例練習会3ゲームを楽しんでいます。会員以外の方も気軽にご参加、上記同好会の皆さんに交じって「ストライク」の快感!を味わってみては如何ですか?
2. 西京区老連 研修委員の活動について 研修委員 市原 和敏

西京区老連研修委員の活動についてご紹介させていただきます。

吉岡委員長をはじめとして各学区担当14名の研修委員で活動しています。

年2回の研修会と文化芸能祭への児童図画出展作業が主な活動です。

もう少し詳しく説明させていただきます。

 - 1) 研修会
前期は、講師をお迎えして公開研修講演会を実施しました。
前回は、昨年10月7日演題「原子力と放射能」を開催して95名参加頂きました。
後期は、施設見学として、今年3月13日京都市立動物園を見学しました。
講演会の開催日時、講演内容及び講師の検討や出演依頼案内状配布、会場の設定等を研修委員で実施しています。
 - 2) 文化芸能祭への児童図画出展作業
各研修委員が担当している学区の小学校の担当先生に絵画の出展依頼や回収期日の了承を頂き、当日回収し会場に展示し終了後回収した各学校へ返却作業を実施しています。

研修委員の活動は、他の委員会のように多忙を極めませんが、定期的に会合を実施して上記作業の打合せを行い各担当者が責任を果たすべく頑張っています。研修会等に多数ご参加頂けることを祈念して活動報告を終わります。

3. 本年度の西京区老連役員

本年度の桂坂山の手倶楽部から選出された西京区老連役員は以下のとおりとなっております。

()内は当倶楽部の役職 敬称略

理 事	青山 正男 (副会長)	副 理 事	中口 利秋 (副会長)
研修委員	市原 和敏 (庶 務)	体育委員	景山 武信 (庶 務)
福利厚生委員	鶴時 静男 (庶 務)	奉仕委員	高木 紀子 (庶 務)
文化委員	水谷 恵一 (庶 務)	広報委員	松井 捨和 (庶 務)
女性部委員	下江 えい子 (庶 務)	女性部副委員	星野 法子 (庶 務)
若手委員	西井 征一 (庶 務)		

第 2 3 回定例総会開催

編集委員 岡村 英明

去る4月19日(土)当倶楽部の第23回定例総会が、閉館されたふれあい会館から国際日本文化研究センター内さつきホール(レストラン赤鬼2F)に舞台を移して、会員97名の出席のもと11時定刻に開催されました。

総会は岡村(重)事務局長(さくら)の司会で始まり物故者への黙祷、長谷川会長(さつき)挨拶の後、総会議長に八木兵司氏(前山の手倶楽部会長・ひいらぎ)を選出、議案の平成25年度事業報告を青山副会長(つばき)、同会計決算報告を足立会計(ひいらぎ)、同監査報告を伊藤監査役(さくら)が報告、拍手で承認されました。次いで審議事項の平成26年度事業計画(案)を長谷川会長、同会計予算(案)を足立会計が説明、それぞれ拍手で承認されました。

その後米寿を迎えられた方の表彰、新たに地域委員、同好会責任者に成られた方の紹介があり11時40分予定通り総会は終了しました。



親睦会開催

編集委員 岡村 英明

第23回定例総会終了後、小時間休憩の間に配膳され、西井委員(ひいらぎ)の司会のもと、中口副会長(かえで)の乾杯音頭で親睦会が12時丁度に始まりました。前述のように総会会場の変更に伴い親睦会のお弁当も昨年の約2倍となり、ご出席者には1,500円の自己負担をお願いしました。予想以上にボリューム感たっぷりのお弁当に、こっそりベルトを緩めた方もあった?とか・・・

親睦会最大の楽しみはビンゴゲーム。始まって5分~早くも松本正二さん(ひいらぎ)が1等賞に次いで伊藤光男さん(さくら)3番手に勅使河原恭子さん(さつき)・・・

カラオケのない会場は早めに、足立副会長(ひいらぎ)の3本締めで1時20分お開きとなりました。

「シンボルマークの思い出」

第3倶楽部 八木 兵司

私が中学2年の頃、通っていた中学校が隣の町の中学校と合併されることになりました。その際、新しい学校の創立に合わせて校章・校旗のロゴマークの募集があり、これに応募したところたまたま私の提案した案が採用になって、現在でもこれがそのまま使用されています。田舎の母校の傍を通る度に、校舎の上にこの校旗がたなびいているのを見て懐かしく当時を思い出しています。

当倶楽部でも、平成17年に現在の広報誌を出し始めた頃、倶楽部のシンボルマークを作ろうという話が出て、会員の皆さんからその案を募集することになりました。全部で12点の応募があり、合同会議で投票の結果、当時事務局を担当していた私の応募した案が選ばれました。この案は、非常にシンプルなデザインですが、「幸せの四葉のクローバー」を基本に、ここ桂坂の地名から「かつらの木の葉」もイメージして外形を作り、その中に「桂坂山の手」の字を縦横に入れたもので、それなりの意味を含めたつもりです。

そして、当時これを生かす方法として倶楽部のシンボルとして大きな旗を作成すること等も検討さ

れましたが、費用対効果の観点からこれが見送りとなり、現在このマークは、「広報誌」と「議案書」に使用されているだけで少々淋しい気がしています。

現在の広報誌はカラー写真が取り入れられて、これからは更に全体にカラフルになっていくと思われますので、適当な時期に現在のシンボルマークも時代に合わせてカラー化するのも良いのではないかと思います。そしてこのシンボルマークが我々の倶楽部の真のシンボルとしてもっと有効に活かされるようになればと願っています。

同好会だより

映画「小さいうち」を鑑賞して 映画鑑賞同好会 乗本 政三

同好会会長のご配慮で「小さいうち」の入場券をいただいたので、早速1月25日封切りの日に見に行きました。

内容は東京郊外のあるモダンな赤い三角屋根の小さい家で起こった恋愛事件を、昭和から平成の時代を通じて描き出されたしみじみと味わえる映画です。

昭和のはじめ田舎から出てきた娘布宮タキ（黒木華）は玩具会社に勤める平井家に女中として働き始める。この小さい家で起こった恋愛事件。主人雅樹・妻時子（松たか子）・恭一（5歳）とおだやかな日々を送っていたある日、雅樹の部下板倉正治（吉岡秀隆）という青年が現れ、時子の心が板倉へと傾いていく。板倉が出征するので会いたい一心で会いに行こうとするが、女中タキは手紙を届けると言いつつ思いとどめさせる。

その手紙には何が書かれていたのか……。

女中タキはこの手紙をもって板倉宅へ向かっていくが……。

それから60年以上の年月が経ち晩年のタキ（倍賞千恵子）がつづった自叙伝にはそれまでの秘められた真実が明らかになる。

その生きざまとその証を遺言のように残す心情はいかばかりかと胸を締め付けられる素晴らしい作品でした。

（編集子注 黒木華（くろきはる）は第64回ベルリン国際映画祭最優秀女優賞（銀熊賞）を受賞）

その他のお知らせ

1. 「地域の安心・安全感謝の集い」開催される 会長 長谷川 文彦

去る3月20日、桂坂小学校の体育館で行われた卒業式で、日頃から子ども達とのふれあいの機会を通して、安心・安全を守っている地域の諸団体に対し、感謝の意を込められたお礼の寄せ書きが子ども達の代表から贈呈されました。

当倶楽部には、写真のような「朝の声掛け活動」に対するお礼の寄せ書きを頂きました。

「朝の声掛け活動」に参加されました皆様方にお礼を兼ねご報告申し上げます。



2. 京都市教育長から感謝状 子供見守り隊 隊長 西井 征一

当山の手倶楽部は、地域との連携活動の一環として「子供見守り隊」による桂坂小学校の子供達の登校時の安全を兼ねた朝の声掛け活動、また「遊びの会」による同校PTA主催の「ふれあい遊びとおぜんざいの会」等に積極的に参加していますが、この度、このような活動に対し、京都市教育長より感謝状を受けましたのでご紹介します。

感謝状

桂坂山の手倶楽部様

貴団体は、京都市立桂坂小学校区において学校安全 ボランティアとして、「子どもの学びと育ちを支援する」という熱い思いのもと様々な工夫を凝らした見守り活動等を通して学校・家庭・地域の連携を深めつつ京都の子どもたちの安心と安全のため献身的にお取組みいただきました。よってここに深く感謝の意を表します。

平成二十六年三月一日

京都市教育委員会
教育長 生田義久

3. 「桂坂ふれあい公園愛護協力会」の活動に参画 事務局 岡村 重臣

ふれあい公園（正式名称は北沓掛第5公園）は、ふれあい会館の閉館に伴い、4月1日より京都市の都市公園となりました。同公園に桂坂地域が関わることを目的に、同日付で桂坂ふれあい公園愛護協力会が設立されました。当協力会の構成は、桂坂学区自治連合会、桂坂学区社会福祉協議会、桂坂体育振興会、京都市ふれあいの里更生園、同授産園、同療護園、桂坂山の手倶楽部の7団体で、役員は、会長に長谷川文彦氏（当倶楽部会長）、副会長に星野義一氏（桂坂学区社会福祉協議会会長）、会計に足立郁男氏（当倶楽部副会長兼会計）、事務局に岡村重臣（同副会長兼事務局長）、委員として各団体より1名（当倶楽部より西井征一氏）が就任致しました。



当協力会の目的は、公園の美化とその維持にありますが、清掃作業は当倶楽部のグラウンド・ゴルフ同好会、ペタンク同好会が主体となって実施します。また、同公園内スポーツ広場は桂坂地域以外の利用者もあるため、利用は申込制としその受付業務も当協力会の事務局で行います。

（写真はスポーツ広場の除草作業をするグラウンド・ゴルフ同好会の皆さん・4月21日）

4. 「趣味の作品展」への一般会員の出展について 「趣味の作品展」実行委員会

本年の「趣味の作品展」は、10月16,17日の両日開催予定ですが、より多くの皆様方に親しんで頂ける作品展にしたいと考えております。そのためには、一般会員（書道、俳句、絵画、写真の4同好会以外の会員）の皆様作品を、従来にも増して、さらに多く出展して頂くことが欠かせません。

出展作品（書道、絵画、俳句、写真、生花、園芸、手芸、工芸等）の募集は、8月初旬に改めてご案内をさせて頂く予定をしております。多くの方の出展をお待ちしております

5. 会員の状況

退会された方（同2月以降）

五十嵐 康子さん（はなみずき） 平成26年3月24日ご逝去されました。ご冥福をお祈りします。

喜多 幸男さん（にれのき）、細居 信子さん（かえで）、小西 恵子さん（にれのき）

伊東 壽一さん（さくら）、柴田 美恵子さん（もくれん）、日沼 澄江さん（ひいらぎ）

川森 徳治さん（さつき）、馬木 昭子さん（かえで）、勝山 昌平さん（かえで）

村上 寛さん（かえで）、鈴木 美津子さん（あかしあ）、阪本 寿子さん（かえで）

藤田 正さん（かえで）

会員数の状況（平成26年4月27日現在）

会員数 263名 本年度入会者数 0名、同退会者数 5名

今年度の編集委員 岡村 英明、松井 捨和、小松 久夫、水谷 恵一、岡村 重臣